

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	7	事業名	平和行政事業	担当部課	総務部行政課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市平和事業推進委員会設置要綱		2-1-1 一般管理費	
	事業開始の背景、経緯等	・平成26年9月30日に非核平和都市宣言を行ったことをきっかけに、様々な平和行政事業を実施している。 ・平成28年5月31日に平和事業推進委員会を設置した。 (両者と協働不可の場合はその理由)			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 戦争がいかに悲惨か、平和がいかに大切かを感じてもらえるような啓発、催事等を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(平和行政事業参加者)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 平和の醸成を図り、次世代に伝承していく。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	2,871	1,315	1,234	1,254	1,376
		決算	2,777	1,178	1,086	1,169	
人件費(B)	千円	決算	3,743	3,866	1,431	2,033	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	6,520	5,044	2,517	3,202	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		804	724	608	505	600
対象あたりコスト(C/D)	千円		8	7	4	6	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
平和行政事業への参加者数	人	目標	—	—	—	—	600
		実績	804	724	608	505	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
市民の平和に対する意識の高さがわかるため。			各平和行政事業の参加者の合計 ・原爆写真パネル展 ・語り部による戦争を語り継ぐ会 ・中学生広島平和体験学習事業				
(前年までと変更した場合はその理由)			一つの事業より平和行政事業全体で評価した方が指標として適していると考えられるため。				

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) ・原爆写真パネル展に、子ども連れで来場する人もある程度いる。 ・中学生広島平和体験学習事業への応募が、毎年定員を超える数ある。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・原爆写真パネル展について、近隣の名古屋空襲に関するパネルも展示し好評であった。 ・広島から被爆体験伝承者を招き、被爆体験者の当時の状況を聴くことができた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) ・戦争を経験した世代が高齢化しており、今後どのように戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継いでいくのか考えていく必要がある。

事業を構成する事務事業①	平和行政事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込		10	10	12	12	15
		実績		25				
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3) 原爆写真パネル展の観覧者数	人	見込		500	400	420	440	460
		実績		326				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> ・令和元年8月6日～8月11日 原爆写真パネル展 ・令和元年8月9日、11日 語り部による戦争を語り継ぐ会 ・令和元年8月7日～8日 中学生広島平和体験学習事業							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	平和行政事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	平和行政事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 若い世代にも参加してもらえるよう、大学等に呼びかけを行う。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 2023年までに、若い世代にも参加してもらい、市民主体で事業が実施できるようにする。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・戦没者追悼事業(地域福祉事業)と平和行政事業のさらなる連携を進めてください。
内部意見への回答	